



The Y's MEN's CLUB of もりおか

<VOL224.2026.8>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

8月の聖句 哀歌3章32節



「たとえ苦しみを与えても 豊かな慈しみによって憐れんでくださる。」

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム
・エルドヴィク
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン
東日本区理事 山下 真
北東部長 三田 庸平(もりおか)
もりおかクラブ会長 長岡 正彦

「主題」

「ブルーミュージックで眠れる巨人を
目覚めさせる」
「アジア太平洋地域をブルーミュージックで
目覚めさせる」
「挑戦なくて進化なし」
「ユースの成長・笑顔を求めて」
「YMCA リーダー達と、共に進もう」

会長 長岡 正彦
副会長 山口 貴伸
書記 濱塚 有史
会計 三田 庸平
副会計 大関 靖二
担当主事 中村 渉(ちゃん)
メネット 井上 優子

2026年9月定例会
日時、場所 9月12日(第2土曜日)
18時~20時
例会費 5,000円

20周年記念誌の会員コラムは9月10日まで延長します
magaoka.marsa@gmail.com まで送りください。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさま、こんにちは。残暑が続いていますが体調に変化はありませんか。高齢の会員が多いため少し心配です。絶対涼しい秋は来ますのでもう少し頑張りましょう。

さて、20周年記念例会に向けて、10周年の続きの10年分のブリテン編集が終わりま

した。前回の10年分の編集の時も感じましたが、歩み続ける事の大切さ、記録を重ねることの大切さをしみじみ感じました。例会でのゲストの豊富さ、お話は多種多様に渡り、知らない世界への扉が開いてきた事を思い出させてくれました。ワイズ活動の一環である、ブリテン発行が意味のある活動だと今回2回目の編集をしてしみじみと感じております。記念誌の編集は、まだまだ続きます。何とか期日までに書き上げ20周年記念誌を完成させます。

昨日、内丸教会の中原真澄牧師が昇天されたとのお知らせを

いただきました。心より冥福をお祈りいたします。安らかに眠りください。元気なころ、当時大嫌いだっただ外国の悪口を公言していた私を、静に諭してくれたこと思い出します。その後、私は「個人は悪くはない」という事を感じて、悪口を公言しなくなりました。中原牧師に、とがっていた角を削っていただきました。今年の行動目標の、「怒らない」という気持ちは、中原牧師のおかげかもしれません。ありがとうございました。

8月は納涼例会でした。

8月8日(土)、アジアの台所で開催。参加者、長岡、大関、三田、シンディ、山口、程海薇、井上優子、高橋、加藤、中村、(敬称略)以上10名。ゲスト、藤田楓さん(チーノ)、早野由衣さん(ラムネ)、2名、全12名で開催されました。

20周年記念例会の連絡事項、北東部イベントについての議題を速やかにこなし、納涼例会のスタートです。美味しい料理と美味しいお酒は、夏の暑さと戦う、会員の体に染み込み、なんと

も言えない快感を与えてくれます。真夏だからこそその親睦会になりました。暑いと文句を言っても、自然にはかえません。暑さに耐え、汗を流し、ふだんの日常生活を送ってきた私たちに、素晴らしいご褒美です。そして、大関さんが参加してくれたことに感謝です、体調はずいぶん良くなってきたようですね。お酒の席には絶対必要なあなたです。まだまだ老いぼれてはいけません。会員のお手本になるよう、日常生活を健全に送ってワイズの活動に参加し続けてください。

リーダーから1人だけ参加してくれたのは「チーノ」です。チーノは参加したキャンプが終了し、参加してくれました、」ありがとうございますチーノ。



納涼例会集合、暑さに負けるな。えい、お～

井上 修三メン、安らかに休息ください

8月31日、井上修三メン、が逝去いたしました。ご冥福をお祈りいたします。ブリテン9月号の編集が終わろうとしている朝、井上優子メネット、より連絡をいただき、言葉が詰まって「ご愁傷様です」としか言葉が出ませんでした。もっと何かを言おうとしても詰まってしまって何にも言えませんでした。

もりおかクラブの20周年記念誌の歩みを編集している時、井上ご夫妻で例会参加の集合写真を編集している時、「記念例会まで、もう少しだよ」頑張ってるね。と思いながら写真を編集していました。

もう、苦しくありませんね。ゆっくりお休みください。あなたが築いた「もりおかワイズメンズクラブ」は私たちが引き継ぎます。発展して行くように活動していきます。見ていてください。

井上さん、私たちがいつかあなたのもとへ行くまで、私たちの中であなたは生きています。ありがとうございました。



2007年2月チャーターナイト



2025年9月定例会



2026年2月定例会にて 最後の例会出席でした

国際会長の主題「ブルーミュージック」って何だろう？

国際会長、ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィーク会長が掲げている「ブルーミュージック」について。「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせよう」ということですが、「ブルーミュージック」とは何なんだろう？。

音楽のジャンルには、ブルーミュージックという物はないと思われれます。我々の本質である、「人を思いやる心、仲間との友情、勇気、自由、創造性、希望、そして奉仕する心」などを表した言葉だと思います。ブルーミュージックとは、私たち一人ひとりが持っている「人のために何かをしたい」という思い。それを、みんなで楽しく、元気に、行動に移していこう、という考え方でしょう。

考えてみれば、ワイズメンの活動は、ただ会議をしたり、事業をこなしたりすることだけではありません。仲間と一緒に笑ったり、語り合ったり、困っている人に手を差し伸べたり、地域のために

活動したりする。そういう一つ一つの行動が、「ブルーミュージック」なのでしょう。

反対に、対立したり、批判し合ったり、組織の中で元気がなくなったりする状態を、国際会長は「グレーミュージック」と表現しています。この「眠れる巨人」というのは、ワイズメン全体の大きな力のことなのでしょう。

世界中にたくさんの仲間がいて、それぞれの地域で奉仕をしています。その力を、もう一度目覚めさせる。そのためには、難しいことを考えすぎるのではなく、まずは仲間と楽しくやること。そして、人を思いやること、声を掛け合うこと、できることから行動すること。そこからブルーミュージックが始まるのでしょう。

今年一年、もりおかクラブでも、一人ひとりがブルーミュージックを奏でて、みんなの力で「眠れる巨人」を目覚めさせていきましょう。

さんさ踊りで、焼きそば販売ファンド

今年も行いました。8月の活動では資金調達の近道、富士宮焼きそばです。大勢のリーダー達の力を借りて、1日から4日まで内丸教会で行いました。粗利は、10万円強、十分です。この焼きそば販売は、



旧友再開の場でもあります。さんさ踊りにやってきた、リーダーOB、OG がやってきて、「おお、久しぶり」と懐かしい顔との再会が多数ありました。濱塚メン、現リーダー達も「旧友再開フォーエバーヤング」を満喫しました。そして今年初企画の「子供のお買い物は100円引き」の企画で、嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。

「フリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

8月の出席率	9名	43%	ゲスト2名	メネット	1名		
メーキャップ	0名			8月切手	0g	累計	255g
8月のにこにこ	0円	累計	0円	富士宮焼きそば	12,000円	累計	0円
8月 石鹸	0円	累計	0円	りんご	0円	累計	0円
8月 献金	0円			ファンド合計	100,000円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 本店営業部(店番号 001)普通口座 2391117

もりおかワイズメンズクラブ 代表 長岡 正彦

8月のハッピーバースディ 8/29 井上メン 誕生日おめでとうございます。

首都圏の子供達と過ごす、雫石サマーキャンプ

今年2回目になる首都圏の子供達対象で、雫石サマーキャンプが、盛岡 YMCA 主催で行われました。8月17日から23日まで1週間、雫石スキー場の直下にある、ペンションソイルをベースに、大自然のど真ん中を、闊歩するキャンプでした。屋台村を開いて、「仮装通貨ソイル」で買い物をしながらの夕食には、富士宮焼きそば、焼きトウモロコシ、唐揚げ、豚汁が並びおのの好きな食べ物でお腹をいっぱいにしていました。ライトには虫が群がり、中にクワガタムシ、カブトムシがんできて、都会では体験できない虫取りを体験しました。満天の星を見上げ、夏の大三角や天の川をどんな気持ちで見上げていたのでしょうか。

このキャンプは首都圏の子供達を招待するのが素晴らしいですね。加藤メンは全面バックアップして始まりから終わりまで付き添ってくれました。私も来年から帯同したいと思います・



さあいっしょに、焼きトウモロコシだぜ



木の上で完熟のトマト

WE ARE ONE

ウクライナ難民支援 チャリティコンサート



8月30日、盛岡 YMCA、イワテサークル オブ フレンズ主催の「ウクライナ難民支援チャリティコンサート」が、「おでつて」で開催されました。ウクライナ戦争を避けて、日本に避難してきたウクライナ人を支援する基金を募るコンサートです。

現在日本に避難しているウクライナ人は約2000人。日本で暮らす上で、言葉や、習慣の違いでなかなか日常生活に難儀している方々が多いです。そんな方々に少しでも支援を届けたいと、シンディのイワテサークルオブフレンズが立ち上がりました。シンディ、ありがとうございます。あなた方の奉仕活動には頭がさがります。そして、出演してくださった、岩手で暮らす外国人の皆様、ありがとうございます。難民ではありませんが、あなたたちも、日本で暮らすために、多くのハードルを越えて来たと思います。ウクライナの方々は、着の身着のままで日本にたどり着いたため、ハードルを越える程度の障害ではなかったと思います。そんな方々に日本で暮らすための支援を行うというのが今回の目的です。

日本 YMCA 同盟の横山由里亜さんは紛争が始まったころ、1人のご夫人がウクライナ脱出から日本へたどり着くまでのエピソード



盟横、山由里亜さん

ソードを話してくれました。日本 YMCA 同盟にかかってきた1本の電話。それは、ウクライナから脱出を試みる1人のご夫人を助けて欲しいというものでした。いかに日本まで送り届けるか、そこには日本と、ウクライナ、周辺各国の YMCA が連携して、戦闘中のウクライナ西部から、東部への移動。国境を越えてからポーランドの YMCA、が日本への避難ルートの確保。必要な手続きをこなして、ご夫人は日本へたどり着きました。そんなお話を聴きました。これがきっかけで、ウクライナ人は多数日本に避難してこられるようになりました。

イワテサークルオブフレンズに集う、外国人のパワーはものすごいものがあります。県南から参加のフィリピンのグループ、インドネシアのアユさん、コロンビア、エクアドル出身の方々、どの主演者も母国の文化を忘れず、この盛岡のステージで素晴らしい演技を見せてくれました。シンディの歌唱力は周知の事実ですが、今回も素晴らしい歌声を披露してくれました。とても素晴らしいパフォーマンスでした。ありがとう、シンディ。あなたのおかげで、外国人との距離がなくなり、普通にお付き合いができるようになりました。



熱唱、シンディ



ベリーダンスのグループ



歌姫と不來方バンド、出演者の皆様、グランドフィナーレ

日本は平和主義を放棄しようとしている？

日本政府は長年にわたる武器輸出の制限を緩和し、10数カ国以上への武器輸出を可能にしました。戦後日本の防衛政策を特徴づけてきた平和主義から、日本政府が離れていくような気がしてなりません。これまで武器輸出の目的を「救難・輸送・警戒・監視・掃海」に限っていた制限を撤廃して、アメリカやイギリスを含め、防衛協定を結ぶ17カ国に殺傷能力のある兵器を輸出できるようになりました。

政府は、「安全保障環境が厳しさを増す中、今やどの国も1カ国のみでは自国の平和と安全を守ることができず、防衛装備面でもお互いを支え合うパートナー国が必要です」と言っています。また、「戦後80年以上にわたる平和国家としてのこれまでの歩みと基本理念とを堅持することに、全く変わりはありません」、「新たな制度の下、より厳正かつ慎重に移転の可否を判断しながら、装備移転を戦略的に推進してまいります」とも述べています。これは子供が親の目を気にしながら、いたずらの度合いをエスカレートして行くのとよく似ています。

中国は、日本の「無謀な軍事化」だとする今回の動きについて、「重大な懸念」を表明しました。中国外務省は同日の定例記者会見で、「中国は引き続き高度な警戒を維持し、日本の決定に断固反対する」と述べました。

新たな武器輸出規則は、日本の自衛隊がアメリカとフィリピンによる年次の軍事演習に参加する中で発表され、日本はこれまでのオブザーバー参加ではなく、初めて戦闘員として演習に加わりました。中国は、この演習が地域の分断を深めるとして反対しています。演習は、台湾を含め、中国が領有権を主張する海域や島々に近いフィリピン各地で行われています。中国は台湾を、自国から分離した省で、いずれは再び中央政府の支配下に置かれるべきだと考えていて、台湾を掌握するための武力行使を排除していません。そんな中、中国政府が台湾を攻撃した場合に、日本が自衛隊で対応する可能性について国会で言

及し、中国の反発を招きました。

日本の防衛姿勢は、1947年に制定された戦後憲法に盛り込まれた。国際紛争を解決する手段としての武力行使を放棄し、戦力を保持しないと明記しています。

平和主義は以来、数十年にわたり、日本のアイデンティティーの一部となってきました。しかし、この考え方は徐々に変化していきます。

2014年4月に当時の安倍晋三首相は、武器輸出を原則禁止した「武器輸出三原則」を撤廃。新たな「防衛装備移転三原則」で、同盟国や友好国との武器の共同開発を可能にするとともに、日本の防衛産業に新たな市場や技術へのアクセスを認めました。2023年には、当時の岸田文雄首相がさらに踏み込み、第2次世界大戦後で初めて、殺傷武器の完成品輸出を解禁しました。高市首相は、平和主義憲法の改憲を支持しています。具体的な変更点は示していませんが、多くの人は戦争放棄を定めた第9条が改憲対象に含まれると考えています。

高市氏の支持者は、中国、ロシア、北朝鮮に囲まれた国として、もはや旧来のルールが通用しない新しい現実には日本は向き合う必要があるとしています。

一方、首相に批判的な人々は、日本が戦争を遂行できる国になりつつあると懸念しています。この人たちにとって、改憲に対する高市氏の姿勢は、日本が軍事的な紛争に巻き込まれる可能性を意味しかねないものだとして主張しています。

安倍晋三総理から始まった、タカ派的な思考者が今の日本を導いています。アメリカのトランプも超タカ派です。トランプの影響力が強いNATOの勢力拡大に危機感を覚えたプーチンが、ウクライナを攻撃しているのもタカ派的な思考と行動が大きな原因です。自民党のハト派の総理大臣が出ない限り、平和主義の日本は取り戻せそうもありません。若者よ、よく考えて国会議員を選ばなければなりません。日本の未来は若者の手が握っているのですから。

編集後記

なんという8月のだろう。内丸教会の中原牧師が亡くなり、もりおかクラブの精神的支柱、井上修三メンも亡くなってしまいました。お別れはつらいものです。残されたご家族の心中を思う時、他人事ではない悲しみを感じます。思いを受け止めます、安らかに眠りください。

ブリテンの編集では、てんてこまいでした。30日のチャリティ終了後、仕上げに入る予定でしたが、井上修三メンのご逝去により途中から、再編集になりました。なんとか完成に至りました。

20周年記念誌の作成は、会員のみな様のコラムを待つ編集を続けます。

焼きそばファンドやキャンプなど、楽しい行事だけで、ルンルン気分ではブリテンを書きたいものです。ブリテン発行は私のライフスタイルに組み込まれて義務感はありません、だからこそ楽しいブリテンを書きたい。今年の8月は、つらい出来事のお届けになりました。

皆様、どうぞ合掌して、井上修三メンをお送りください。あちらでは、古澤さんや崇江さんが、います楽しくやってください。